

2020ふゆトピア・フェア in とまこまい

第32回ふゆトピア研究発表会

論文募集要領《論文執筆要領》

ふゆトピア研究発表会事務局

令和元年9月

ふゆトピア研究発表会
論文募集要領（執筆要領）

北海道の冬期の日常生活および災害対応は、雪氷の影響から多くの支障がある一方で、冬の景観、アクティビティは、北海道の魅力のひとつでもあり、インバウンドをはじめとする観光客が楽しみを感じているところです。

日頃のインフラ管理者や研究者の取組、地域振興に尽力を注ぐ人々の情報交換や交流を行うことを目的に「ふゆトピア研究発表会」を開催いたします。

1. ふゆトピア研究発表会の概要

「ふゆトピア研究発表会」は、「2020 ふゆトピア・フェア in とまこまい」の一環として開催するものです。開催概要は以下のとおりです。

◆ふゆトピア研究発表会 令和2年1月24日（金）9：30～16：15
於：苫小牧市総合体育館（第1、第2練習室）

- ◇オープニングセレモニー 令和2年1月23日（木）
於：苫小牧総合体育館（主競技場）
- ◇シンポジウム 令和2年1月23日（木）
於：苫小牧市民会館（大ホール）
- ◇展示会 令和2年1月23日（木）～1月24日（金）
於：苫小牧総合体育館（主競技場）
- ◇除雪機械展示・実演会 令和2年1月23日（木）～1月24日（金）
於：出光カルチャーパークグラウンド
- ◇交流会 令和2年1月23日（木）18：00～
於：グランドホテルニュー王子

2. ふゆトピア研究発表会の発表分野

募集する調査研究分野及び事例報告は以下のテーマで、調査研究や活動実績報告（住民団体、市民行政との連携協働等）といったものの発表も幅広く募集いたします。

◆セッションⅠ『地域性を活かした観光・産業振興、地域づくり』

キーワード：冬期観光、利雪・親雪、雪国文化、アイヌ文化、流氷、インバウンド、情報発信、北海道新幹線、地方創生、まちづくり、公民協同、地域協同、住民参加、北方建築、エネルギー 等

◆セッションⅡ『冬期に生じる災害の支援・復旧』

キーワード：災害（地震、地滑り、噴火、大雪、吹雪、雪崩、高潮等）、災害対策基本法、通行止め、除雪、雪氷予測、広報、情報提供、関係機関連携、タイムライン、被災者支援、復旧、雪崩対策、結氷・流氷対策、融雪、融雪出水、気候変動、チェーン規制 等

◆セッションⅢ『冬期インフラ管理』

キーワード：ICT、IoT、i-Construction、新技術、コスト縮減、効率化、メンテナンス、LCA（ライフサイクルアセスメント）、路面管理（凍結防止剤散布、除排雪作業）、視程障害予測技術、吹雪対策、雪氷対策、事故対策、除雪機械の性能向上、人口減少（人手不足）、高齢化、技術の伝承、雪氷予測、克雪、冬期VSP、パートナーシップ、地域防災力、凍害・複合劣化 等

※各テーマのキーワードは参考であり、上記以外のキーワードについても応募可能とします。

※他の学会等で既に発表された論文も応募可能とします。

3. 提出論文の種類

概要論文及び本論文

4. 概要論文の執筆要領

概要論文には、調査研究目的、手法、結果を明確に記述してください。

また、本文（表題、図表、写真を含め）などにおいて特定の企業団体等の宣伝行為と見なされないよう注意してください。

なお、一般の方、NPO やボランティア団体等の論文につきましては、論文様式をこだわらないこととしますので、自由な形態で提出して頂いて構いません。

ただし、過年度に発表された公表物などで分量の多いものは要約してもらうことがあります。また、自由様式ではありますが、起承転結（はじめにや発表の主旨、課題や問題点、活動の内容、まとめ）などをわかりやすく記載して頂き、論点を明確にして下さい。

事務局内の査読班の判断により論文発表をお断りする場合がありますのでご了承ください。

仕様については、以下のとおりといたします。（参考例を掲載しておりますので参照ください。）

～概要論文執筆要領（行政・研究機関・大学等、企業）～

- ◇容 量 ; A 4 版 1 ページ
- ◇形 式 ; 上下のマージン 18mm、左右のマージン 12mm、2 段組
- ◇フォント及びポイント ;
- タイトル（副題含む）－12 ポイント、フォントはゴシック、中央寄せ
- 著者名－12 ポイント、フォントは明朝、中央寄せ
- 著者所属名－10 ポイント、フォントは明朝、中央寄せ
- 本文－10 ポイント、フォントは明朝
- 行間－16 ポイント
- 大見出し－10 ポイント、ゴシック
- 小見出し－10 ポイント、明朝
- ◇文字数等 ; 1 行文字数 25 文字
- 1 段の行数は 46 行
- ◇見 出 し ; 大見出しは行頭から「1. はじめに」のように書き、小見出しは「1.1 小見出し」としてください。
- ◇図 表 ; 図表・写真は順番に「図 1」「写真 1」と番号をつけてください。
- 図表番号及び写真番号とタイトルは、図・写真の下。
- 表は表の上につけてください。

5. 本論文の執筆要領

本論文はA 4 版 6 ページ以内偶数枚数（4 頁、6 頁構成）で作成してください。

本論文の執筆要領に関しては、1 ページは論文概要と同様とします。

2 ページ以降に関しましては、1 段 25 文字×46 行、2 段組で作成してください。

（参考例を掲載しておりますので参照ください。）

6. 論文の提出締切

論文申込書	令和元年 9 月 19 日（木）
概要論文・本論文	令和元年 10 月 17 日（木）

7. 論文申込書の提出方法

- ・論文申込書（別紙 1）に必要事項を記入のうえ、電子メール（PDF ファイル形式）または FAX にて提出期限までに「ふゆトピア研究発表会事務局」へお申し込みください。（提出先は下記の 11. をご参照願います）

8. 概要論文及び本論文の提出方法

- ・概要論文及び本論文は、電子媒体（ファイル形式 PDF）で、概要と本論文を別ファイルとしてください。電子メールのデータ容量は、4Mbyte 程度を上限としてください。
- ・概要論文及び本論文の提出は、提出期限までに「ふゆトピア研究発表会事務局」へ、電子メールまたは、郵送（CD-ROM）にてお申し込み下さい。

※メール及び郵送物を受領次第、事務局よりメールを送付します。

万一、提出締切日から1週間経過しても事務局からメールが届かない場合には、お手数ですが、事務局までお問い合わせ願います。

9. 論文発表

- ・論文発表は、「口頭発表」、「論文集掲載」及び「ポスターセッション」といたします。
- ・論文申込書の選択欄に、ご希望の発表形式を一つ選んでご記入ください。
- ・「口頭発表」及び「ポスターセッション」については、時間や展示スペースに限りがございます。口頭発表希望者多数の場合、事務局にて選定し、ポスターセッションに変更させて頂く場合がございます。後日、事務局からご連絡いたしますので、予めご了承願います。
- ・投稿されたすべての論文は、論文集として配布するとともに、北海道開発局ホームページに掲載する予定です。

※口頭発表からポスターセッションに変更して頂いた方の論文につきましても、論文集等に掲載する予定です。なお、ポスターセッションを辞退された場合も、同様に論文集等に掲載する予定です。

【口頭発表】

- ・口頭発表時間は一人15分（発表12分、質疑応答2分、入替1分）を予定しています。
- ・基本的に当日のプレゼンテーションは、Windows 対応の Microsoft PowerPoint を用いて行いますが、発表の際には、OHP 使用、説明用資料配付が必要等、事務局に申し出て頂ければ適宜対応致します。

※詳細については、論文発表資料の作成依頼時に再度連絡させていただきます。

（連絡は、応募者へ論文の発表方法を通知する11月末頃を予定しております。）

【ポスターセッション】

- ・展示可能時間（準備・後片付け含む）は9：00～16：00とします。
- ・10：00～15：00は、必ず展示願います。
- ・11：30～13：30の間は、担当者は展示ブースにて待機し、適宜解説等をお願いします。
- ・展示物は印刷し、当日持参願います。
- ・ポスターセッションにつきましては、タイトルと著者名のみプログラム及び北海道開発局ホームページに掲載する予定です。

※詳細については、別資料「ポスターセッション申込・実施要領」を参照願います。

10. スケジュール

- ・令和元年 9月19日(木) 論文申込書の締切
- ・令和元年10月17日(木) 概要論文及び本論文の締切
- ・令和元年11月末 応募者へ論文の発表形式及び発表要領を通知
- ・令和2年 1月24日(金) 研究発表会の開催

11. 論文提出及び問い合わせ先

「ふゆトピア研究発表会事務局」

国土交通省 北海道開発局 建設部 道路建設課 (担当者: 掛田、神馬、宮崎)

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目札幌第1合同庁舎16階

電話: 011-709-2311 (内線 掛田 5374、神馬 5367、宮崎 5956)

FAX : 011-757-3270

e-mail : hkd-ky-fuyuken@gxb.mlit.go.jp

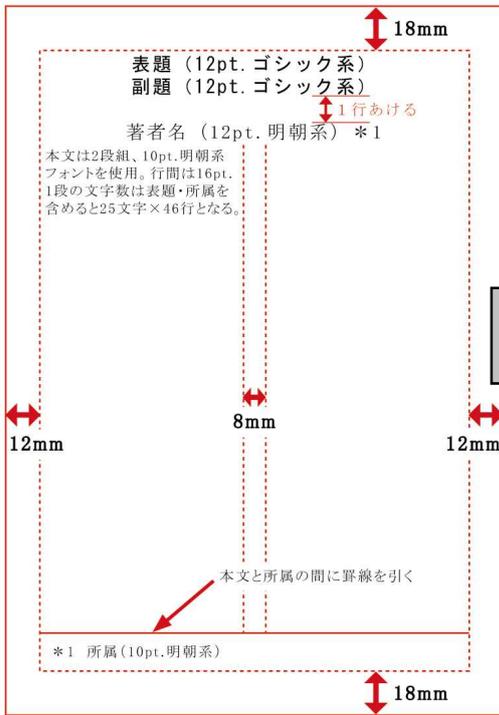
★「ふゆトピア研究発表会」ホームページ : <https://www.hkd.mlit.go.jp/●●.html>

*上記ホームページからも「論文申込書」及び「募集要領」がダウンロードできます。

*ホームページは8月下旬開設を予定。

■参考（執筆形式、レイアウト）

(1) 概要論文



例

効率的な凍結防止剤散布に関する冬期路面調査

樋口浩男*1 小林一治*1 武士俊也*

1. はじめに
我が国では、平成2年度に「スパイクタイヤ除きの発生防止法に関する法律」が施行された以降、凍結防止剤の使用量が年々増加する傾向にあるが、安全で円滑な道路交通確保のための一部道路水準を確保しながら、コスト削減を求められるという道路管理者には厳しい状況にある。
本調査では、効率的な凍結防止剤の散布方法を検討するため、散布量・散布間隔を変化させ、路面性状、路面残留塩分濃度およびスリップ係数係数を併用検査とともに計測、比較する実験を実施したので報告する。

2. 試験概要
試験場所は、一般国道18号新居浜中環状部中環状部環状部環状部環状部の敷設区間（表-1）が異なる3つの調査区間（A区間、B区間、C区間）を設定し実施した。

散布間隔	区間別散布量	区間別散布量
1時帯後	30g/m ²	15g/m ²
2時帯後	20g/m ²	15g/m ²
3時帯後	20g/m ²	15g/m ²
4時帯後	30g/m ²	15g/m ²
5時帯後	20g/m ²	15g/m ²
6時帯後	30g/m ²	15g/m ²

3. 試験結果
観測結果を図-1に示す。路面性状では、各区間とも残留塩分濃度が開始される前後に急激に増加し、路面性状が安定してくる。A区間、B区間では残留塩分濃度が急激に増加しているが、C区間では残留塩分濃度は急激に増加しなかった。
路面残留塩分濃度については、B・C区間は-0.3℃～-0.5℃の範囲で推移し、A区間は-0.5℃～-1.0℃の範囲で推移している。
スリップ係数については、各区間とも初期計測時の路面性状の時点で一層高く、その後変化しながら推移しており、凍結防止剤を散布した直後のスリップ係数は向上している。
路面残留塩分濃度については、各区間とも散布直後

の路面性状に急激な変化が生じている。
A区間については、残留塩分濃度が急激に増加しており、このときの路面性状は正常状態に比べて急激に悪化する傾向がある。B・C区間においては、残留塩分濃度が0%に達するまで急激に増加しているが、B区間の路面性状は急激に悪化する傾向がある。
図-1 観測結果

4. 今後の展開
効率的な凍結防止剤散布を実施するためには、路面性状・気象状況に合わせて適切な散布量を確保する必要があり、今後路面性状に応じて、以下の事項について検討を深める。
① 散布方法ごとの塩分濃度の増加量の評価
② 路面残留塩分濃度の調査頻度の評価
③ 路面管理上必要な塩分濃度管理の検討

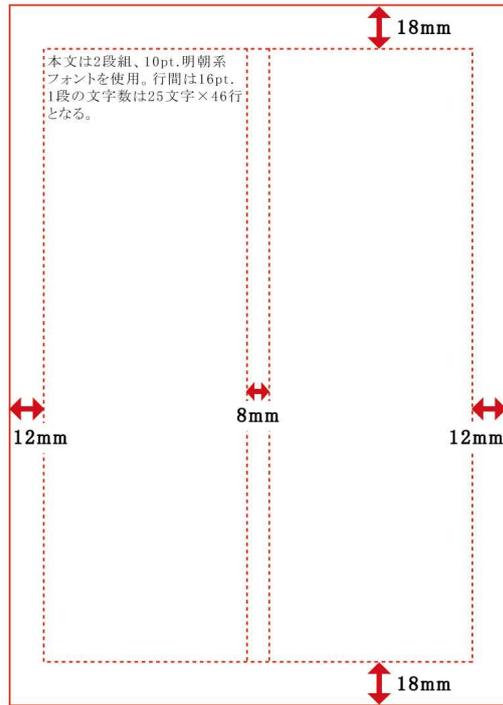
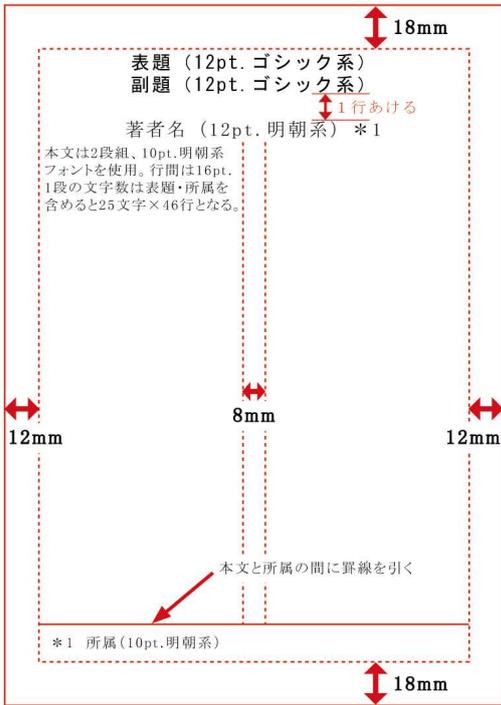
5. まとめ
凍結防止剤の散布量・散布間隔を変化させ、路面性状・気象状況に合わせて適切な散布量を確保することにより、効率的な凍結防止剤散布が可能であると考える。
今後も試験区間のための塩分濃度特性試験等を実施し、散布コストも考慮した効率的な凍結防止剤散布方法について検討を進める。

*1 独立行政法人土木研究所 新居試験所

↑※参考作成例）第17回ふゆトピア研究発表会
発表論文より概要論文抜粋

★A4版1頁構成で、調査研究目的、手法、結果をわかりやすく明確に記述してください。

(2) 本論文



(1 ページ目)

(2 ページ目以降)

参考

冬道における視線誘導施設の効果について
伊集 朝彦¹⁾、武知 洋太²⁾、松沢 勝³⁾、加治屋 安彦⁴⁾

1 はじめに
視線誘導施設は、主に夜間に道路前方の線形を示しドライバーの運転を補助する施設である。夜道において視線誘導施設は視界だけでなく、眩光による視覚的な課題となっている。さらに眩光による視覚的課題、人車事故の発生状況において約1割¹⁾を占め、重要な冬期交通の課題となっている。

一般に、写真1に示す距離100m程度の反射材がドライバーの視認性を高めることが多く、冬季の降雪状態においては降雪量により埋もれてしまうことも多く、除雪車の作業支援のため設置されているが、矢張りといわれる固定式視線誘導柱(写真2)やスノーボール(写真3)が、ドライバーに代わって冬期の視線誘導の機能を果たすと考えられている。

写真1 デリニエータ 写真2 スノーボール
写真3 固定式視線誘導柱(矢張り)

金子ら¹⁾(1998)、谷口ら²⁾(2000)のドライバーに対するアンケートの調査結果によると、次善の目録物は符節線の視認性が高く、ついで固定式視線誘導柱である。この結果はドライバーの視覚的課題を軽減できるアイマークカメラが効果的と考えられる。ドライバーの視線誘導がドライバーデータとして取得することも可能となった。そこで本研究では、冬道における視線誘導施設の効果を明らかにするため、アイマークカメラを用いた視線誘導施設を行った。

これまでもアイマークカメラによって運転時の視線

冬季調査は平成16年10月9日～20日のうち4日間、冬期調査は平成16年2月17日～6日のうち4日間、それぞれ被験者を6名ずつ、合計40名で調査した。被験者の年齢構成は表1に示すとおりで、できるだけ年齢構成が偏らないように努めた。同一被験者に最大で日中、夜間、夜間の1日3回調査を行った。

結果としては、写真4に示すアイマークカメラ(バック鏡:BN0-0)を装着させ、調査区間で運転を行い、視線誘導施設を走行した。車両は専用電線の関係からRV車を用いた。視線誘導施設終了後、引車再び調査区間を走行し、調査区間毎あるいは交通状況等によっていくつかの調査区間をまとめて、その区間内で視認した対象物に関するアンケートを実施した。

表1 各区間の視線誘導施設の配置と調査条件

区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
区間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16				

第 32 回ふゆトピア研究発表会
論文申込書

(別紙 1)

発表形式の希望 (○を付けてください)	口頭発表 ・ 論文集掲載 ・ ポスターセッション ※希望する形式を <u>一つ</u> 選んで記入してください。
セッション (テーマ) (○を付けてください)	I ・ II ・ III ・ その他 (ポスターセッション希望者は記入不要)
論文キーワード (複数記入して下さい)	※各セッションキーワードに記載されていないものでも可能です。
論文名 ポスターセッション のタイトル	
著者名	(ふりがな) 氏名: 所属:
担当者	(ふりがな) 氏名: 所属: ※上記著者と同一であれば記入の必要はありません。 ※連名執筆の場合は、連名者のうち一人を連絡担当者としてください。 ※地方整備局等で取りまとめた場合は、その担当者名をご記入ください。
担当者連絡先	住所 〒 電話: FAX: E-mail アドレス:

■論文申込書提出期限：令和元年9月19日（木）

<注意事項等（提出不要）>

- ・いずれの発表形式も、参加費用は無料です。
- ・「口頭発表」及び「ポスターセッション」については、時間や展示スペースに限りがございます。
- ・「口頭発表」希望者多数の場合、事務局にて選定し「ポスターセッション」に変更させて頂く場合がございます。後日、事務局からご連絡いたしますので、予めご了承願います。

※「口頭発表」から「ポスターセッション」に変更して頂いた方の論文につきましては、論文集等及び東北地方整備局ホームページに掲載する予定です。

なお、「ポスターセッション」を辞退された場合も、同様に論文を掲載する予定です。

※「ポスターセッション」に使用した掲示物は掲載致しません。

- ・「ポスターセッション」希望者多数の場合は、先着順とさせて頂く場合がございますので、予めご了承願います。
- ・発表内容（表題、図表、写真を含め）が特定の企業団体等の宣伝行為と見なされないよう注意してください。
- ・事務局内の査読班の判断により、論文発表をお断りする場合がありますので、予めご了承ください。

<申し込み・お問い合わせ>

「ふゆトピア研究発表会事務局」

国土交通省 北海道開発局 建設部 道路建設課（担当者：掛田、神馬、宮崎）

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目札幌第1合同庁舎16階

電話：011-709-2311（内線 掛田 5374、神馬 5367、宮崎 5956）

FAX：011-757-3270

e-mail：hkd-ky-fuyuken@gxb.mlit.go.jp

【概要論文様式】 表題 (12pt. ゴシック系)
副題 (12pt. ゴシック系)

著者名 (12pt. 明朝系) * 1

本文は2段組み、10pt. 明朝系フォントを使用。行間は16pt.

1段の文字数は表題・所属を含めると25文字46行となる。

* 1 所属 (10pt. 明朝系)

【本論文様式】 表題 (12pt. ゴシック系)
副題 (12pt. ゴシック系)

著者名 (12pt. 明朝系) * 1

本文は2段組み、10pt. 明朝系フォントを使用。行間は16pt.

1段の文字数は表題・所属を含めると25文字46行となる。

* 1 所属 (10pt. 明朝系)

ポスターセッション 申込・実施要領

1. 申込から発表までの流れ

- 令和元年 9月19日（木）迄 論文申込書（別紙1）に必要事項を記載の上、提出
令和元年 9月26日（木）迄 事務局より申込者へ、論文申込受領の連絡
（万一、連絡がない場合は、事務局までご連絡・ご確認願います。）
令和元年11月末 事務局より発表時間や発表要領等の連絡
（質問や相談があれば、事務局担当者までご連絡願います。）
令和元年12月20日（金）迄 ポスターのデータ（pdf）の提出
令和 2年 1月24日（金） 発表日（※掲示物は各自印刷して持参願います。）

2. 展示ブースとポスターサイズの規定（予定）

- ・展示場所は、苫小牧市総合体育館 ホワイエを予定。
- ・一展示当たり、幅1.5m～2.0m、高さ3m程度の展示ブースを予定。
- ・ポスターは当方では印刷しません。当日の**展示物は全て各自ご用意・持参願います。**
- ・ポスターの寸法や余白等の規定はありません。また、展示ブースからはみ出さない限り、複数枚展示頂くことも可能です。

3. 実施要領（予定）

- ・12月20日（金）迄に、ポスターのデータ(pdf・補足資料は不要)を事務局宛てにメールで提出してください。
※なお、データを提出する際には、20Mbyteを超えないよう、必要に応じて分割して送信願います。
- ・展示可能時間（準備・後片付け含む）は9：00～16：00。
- ・10：00～15：00の間は、必ず展示願います。
開場は9：00です。前日からの下見や準備は出来ませんので、ご了承願います。
- ・11：30～13：30の間は、コアタイムとします。
この時間内は、担当者は展示ブースにて待機し、適宜解説等をお願いします。

4. その他

- ・ポスターセッションの展示時間や展示スペースには限りがございます。
参加希望者多数の場合は、先着順とさせて頂く場合がございますので、予めご了承願います。
- ・展示物（表題、図表、写真を含め）等において特定の企業団体等の宣伝行為と見なされないよう注意してください。査読の結果、事務局の判断により参加をお断りする場合がありますほか、当日であっても展示を中止させて頂く場合がございますので、予めご了承願います。
- ・担当者用の控え室をご用意しておりますので、お荷物等はそちらに置くことが出来ます。但し、盗難等に関する責任は負いかねますので、ご了承願います。
- ・お問合せ窓口：論文募集要領《論文執筆要領》を参照願います。